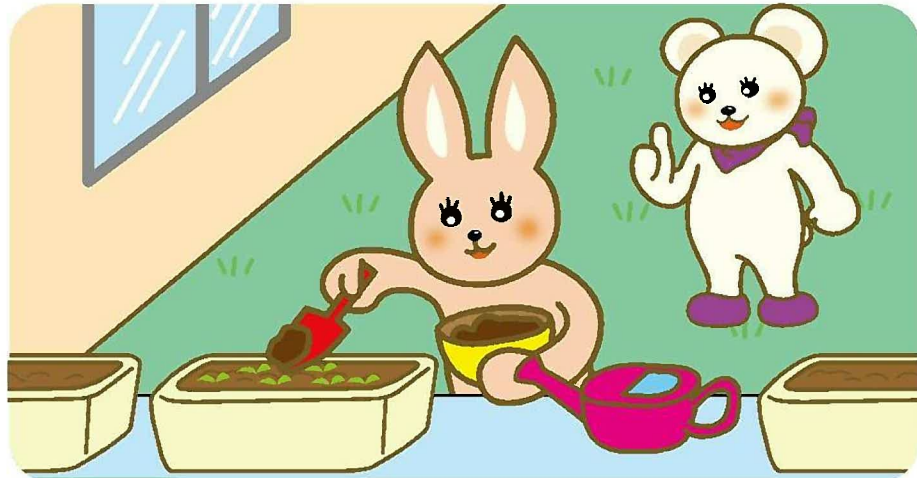
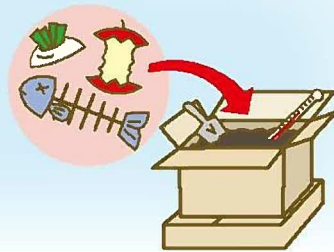


「生ごみだって捨てないよ」段ボールコンポストで堆肥づくりをしているうさぎちゃんが教えてくれました。できた堆肥は、花や野菜の栄養になります。



**段ボールコンポストで、生ごみが堆肥に**

家庭などから出るごみの約4割を占めている、生ごみ。段ボールでコンポストをつくって生ごみを堆肥に変えれば、ごみの量だけでなく、ごみを捨てに行く回数も減らせます。できた堆肥は園芸や野菜づくりに使ってリサイクル!



「ゴーヤーも育てているんだよ」ためきくんの声に、ロージーちゃんが振り向くと、そこには見事な緑のカーテンがありました。「緑のカーテンって何だか涼しいね。」



**緑のカーテンでエコに涼しく**

ツル性植物を建物の窓辺や壁などで育てると、自然のカーテンができます。葉っぱの間を通る風は、天然のエアコンのよう! ゴーヤーのほかにも、ヘチマやきゅうり、あさがお、インゲン豆など葉の大きな植物でいろいろな緑のカーテンをつくることができます。緑のカーテンは、葉っぱで直射日光を遮り、室温の上昇を抑えることができます。



「<sup>てんき</sup>天気がいいから、<sup>こうえん</sup>公園へピクニックに行こうよ」と、たぬきくんがお弁当をつくってくれました。「<sup>すいとう</sup>水筒も、<sup>も</sup>持ってきたよ」



 **マイタンブラーでおしゃれに楽しむ**

中原区エコカフェでは、マイタンブラーの利用促進を通じて、地球温暖化防止への取り組みを進めています。お気に入りのタンブラーを持って、参加してみませんか。詳しくは、区ホームページで。

<http://www.city.kawasaki.jp/65/65nakahara>



歩いて夕飯のお買いもの。たぬきくんは、着なくなった洋服でつくった手づくりのエコバッグを持っていきます。「割りばしやスプーンを付けてくれるお店もあるけれど、<sup>おうち</sup>にあるものを使えばいいから、いらないよね」



ゆうはんのあとは、お風呂の時間です。  
 「みんなで一緒に入るのって、楽しいね」とロージーちゃん。  
 「一度に入れば、ガスや電気を付けておく時間も短くなるんだよ」とうさぎちゃん。

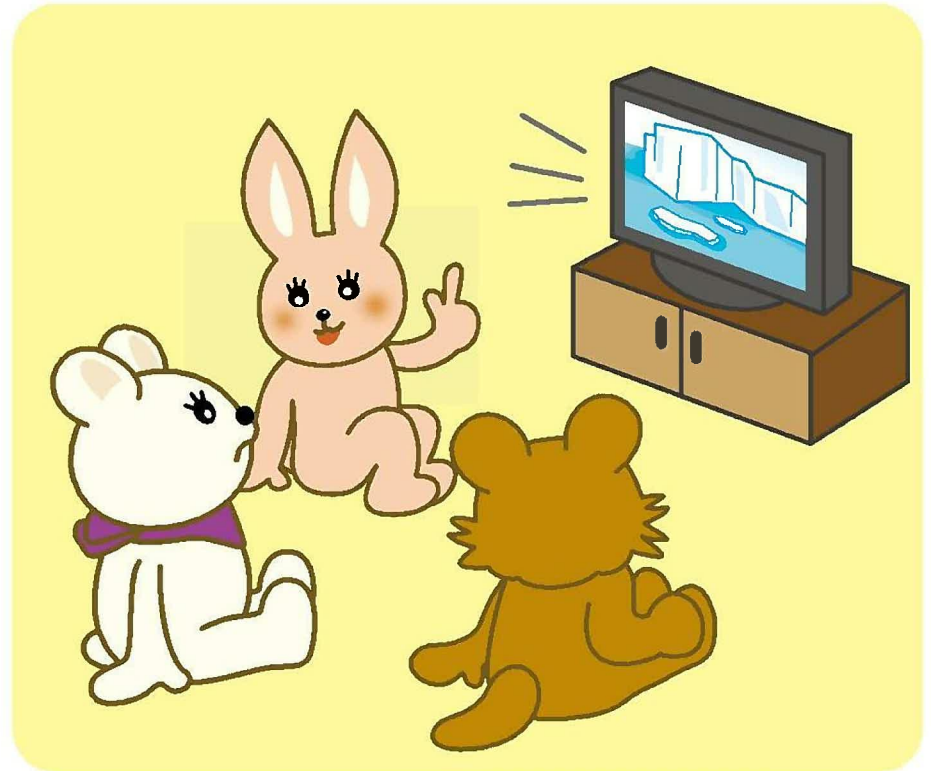


お風呂の残り湯を有効活用

お風呂の残り湯は、翌日になっても水道水よりやや高め温度が保たれています。ぬるぬる水で洗濯をすると、洗剤が水に溶けやすく、洗剤に含まれる酵素の働きが活発になります。また、残り湯は打ち水としても利用できます。地面にまいた水が蒸発するとき地面から熱を奪い、地面を冷やすため、地面からの照り返しが減り、気温を下げる効果があります。



テレビに映った北極を見て、おうちを思い出したロージーちゃんは悲しくなりました。「みんなで集まってテレビを見れば、電気も節約になるよ。一家団らんで地球を守ろうね」うさぎちゃんが励ましてくれました。



ながたびつか  
長旅で疲れたロジーちゃんのために、  
たぬきくんがふとんを敷いてくれ  
ました。「エコな暮らしって、地球に  
もみんなにもやさしくて、楽しいん

だね」とロジーちゃん。「明日も、私  
たちができる小さなエコを、探して  
みようね」とうさぎちゃん。

